

ふかがわ社協だより

第124号

編集 深川市社会福祉協議会事務局

令和元(2019)年7月発行 社会福祉法人深川市社会福祉協議会 電話26-2411

「子ども」も「大人」も仲良くふれあい！

～『総合福祉センター・交流スペースより』～



社会福祉協議会が管理する「総合福祉センター(深川市所有施設)」には、市内に住む子どもから高齢者までたくさんの市民の方が訪れます。

この日もロビーの交流スペースでは、昼食を食べていた未就学の子どもとピンポンサークルのメンバー(高齢者)が、手を取り合いながら笑顔でふれあう光景がみられました。

社協だよりは、「赤い羽根共同募金」の配分金により発行しています。

「住み慣れた地域で永く継続して」

生活できる地域をめざして

～ 令和元年度 深川市社会福祉協議会 事業計画 ～

※ 本計画は、平成30年度第3回理事会での議決を経て、第1回臨時評議員会にて承認を得ています。

【事業方針】

現在深川市は、高齢化率が四十％を超える「超高齢社会」となり、在宅で生活する高齢者が「住み慣れた地域で永く」継続し生活していくためには、解決しなければならぬ「ニーズ」があり、その「ニーズ」は、個人生活の多様化に伴い多種多様を極めております。

そのため、それらを解決するには、公的なサービスはもとより、住民の皆さんが主体的に展開する「地域福祉活動」の充実が求められると共に、活動を支えるバックアップ体制も必要となります。

本会は、この現状を踏まえ「地域福祉活動」の中核的役割を担うべく、一人ひとりの住民や地域の「福祉ニーズ」に應える事業推進を図り、行政に「地域福祉活動」の現状や役割の重要性を伝える「橋渡し役」を担いながら、各関係機関・団体と密接に連携し

住民が生き生きと参加できる「福祉のまちづくり」を目指してまいります。

また、福祉サービス事業では、利用者に寄り添うより良いサービスの提供を目指し、職員のスキルアップに努めてまいります。

今後とも、本会が地域住民に支持され、これからも必要とされる組織として永続的に活動するために、組織や事業の見直し・経営の効率化などを役員一同で議論・展開してまいります。

【重点項目】

「社会福祉協議会の基盤確立」

- 事務局体制の強化
- 経営基盤の確立
- 関係機関団体との連携
- 「介護保険事業等の充実」
- 介護保険サービス、障がい福祉サービス等の実施
- ホームヘルパー・ケアマネジャー等の資質向上
- 指定居宅介護支援事業所、指定居宅介護サービス（ホ

ームヘルプ）事業所の運営
○関係機関団体との連携

「住民参加型地域福祉・在宅福祉活動の拡充・基盤づくり」

- 地域福祉体制づくり事業（各種研修会の開催）
- 地域福祉奨励事業（小地域ネットワーク活動・敬老ふれあい事業）
- 在宅介護者支援推進
- 在宅介護者支援活動
- 地域支え合い体制づくり事業
- 生活支援コーディネーター事業

「ボランティア活動の推進」

- ボランティアの養成
- ボランティアセンターの機能の充実
- ボランティアの斡旋派遣事業
- 「総合福祉センター維持管理運営（指定管理者制度）」
- 老人福祉センター・児童センター・働く婦人の家の維持管理運営

平成30年度 深川市社会福祉協議会 決算(資金収支計算書)

【収入】合計(小計①+③+⑤)=127,172,297円			【支出】合計(小計②+④+⑥)=128,967,239円	
科 目	予算額(円)		科 目	予算額(円)
1.会費収入	2,219,350	事業活動 による 収支	1.人件費支出	99,263,669
2.寄付金収入	3,706,152		2.事業費支出	14,356,487
3.経常経費補助金収入	19,701,518		3.事務費支出	3,691,247
4.受託金収入	37,694,289		4.助成金支出	6,210,555
5.介護保険事業収入	52,187,497		5.負担金支出	741,000
6.障害福祉サービス等事業収入	11,490,600			
7.受取利息配当金収入	33,697			
8.その他の収入	109,194			
小 計 ①	127,142,297		小 計 ②	124,262,958
科 目	予算額(円)	施設整備 等による 収支	科 目	予算額(円)
1.施設整備等補助金収入	0		1.固定資産取得支出	0
小 計 ③	0		2.ファイナンス・リース債務の返済支出	757,200
			小 計 ④	757,200
科 目	予算額(円)	その他の 活動による 収支	科 目	予算額(円)
1.長期貸付金回収収入	30,000		1.長期貸付金支出	30,000
2.積立資産取崩収入	0		2.積立資産支出	3,917,081
小 計 ⑤	30,000		小 計 ⑥	3,947,081

令和元(2019)年度 深川市社会福祉協議会 予算(資金収支計算書)

【収入】合計(小計①+③+⑤)=137,312,000円			【支出】合計(小計②+④+⑥)=137,312,000円	
科 目	予算額(円)		科 目	予算額(円)
1.会費収入	2,124,000	事業活動 による 収支	1.人件費支出	104,870,000
2.寄付金収入	3,600,000		2.事業費支出	19,072,000
3.経常経費補助金収入	20,194,000		3.事務費支出	4,717,000
4.受託金収入	39,704,000		4.助成金支出	6,323,000
5.介護保険事業収入	58,878,000		5.負担金支出	730,000
6.障害福祉サービス等事業収入	11,545,000			
7.その他の事業収入	5,000			
8.受取利息配当金収入	4,000			
9.その他の収入	81,000			
小 計 ①	136,135,000		小 計 ②	135,712,000
科 目	予算額(円)	施設整備 等による 収支	科 目	予算額(円)
			1.固定資産取得支出	200,000
小 計 ③	0		2.ファイナンス・リース債務の返済支出	1,095,000
			小 計 ④	1,295,000
科 目	予算額(円)	その他の 活動による 収支	科 目	予算額(円)
1.長期貸付金回収収入	300,000		1.長期貸付金支出	300,000
2.積立資産取崩収入	877,000		2.積立資産支出	5,000
小 計 ⑤	1,177,000		小 計 ⑥	305,000

特別会員・特別賛助会員・賛助会員の皆さん ご支援・ご協力ありがとうございます！

深川市社会福祉協
議会では、事業推進に
必要となる資金を募
るために「会員会費制
度」を取り入れており
ます。

このページでは、登
録して頂いている「特
別会員」「特別賛助会
員」「賛助会員」の皆
様をご紹介いたしま
す。

なお、平成三十年度
に会費を納入してい
ただいている会員の
皆様のみを掲載して
おります。また、会費
納入時点の「名称」を
用いておりますこと
をご了承下さい。

※「敬称略」「順不
同」で掲載しておりま
す。

【特別会員】

軽費老人ホームひいらぎ荘	社会福祉法人北海道中央病院
特別養護老人ホーム清祥園	北光保育園

【特別賛助会員】年額一口 5,000円（各企業、団体等）

深川土地改良区	(株)ホッコン	税理士法人 小島会計
深川西町保育所	きたそらち農業協同組合	大谷種苗(株)
(有)佐野自転車商会	深川商工会議所	(医)厚北会吉本病院
(株)三共ストアー	(株)倉本道新販売店	多度志保育園
中央運輸(株)	(有)旭クリーニング	道央開発(株)
たなか歯科医院	(株)笠松自動車整備工場	北邦運輸(株)
北日本運輸(株)	天理教雨龍大教会	(株)清水モーター商会
富岡産業(株)	北空知信用金庫	坪田電気(株)
(有)真鍋生造花店	(株)中島自動車	旭物産(株)
中本土建(株)	(株)宮本運輸	深川油脂工業(株)
空知ガス(株)	光栄建設工業(株)	あかとき学園
(有)長谷部商事	寺岡工務(株)	(株)板倉会館
(株)ホクシン	松本印刷(株)	(有)三上石材工業所
深川あけぼの保育園	わかば保育園	(株)渡辺ふとん店
伊東歯科医院	市民生協コープさっぽろ	(株)丹羽商店
プラザ富士屋	セキカナモノ	深川砂利工業(株)
(株)日の出会館	(株)深川ハイヤー	新星ハイヤー(株)
上中精肉店	清水呉服店	音江ハイヤー(有)
司法書士 北村幸雄	日東石油(株)	(有)向昌良商店
神竜土地改良区	(株)高橋商事	(有)かじかわ
(株)丸太松井商店	深川美装(株)	ホッコン商事(株)
(有)堀自動車整備工場	(株)森栄建設	多度志土地改良区

(株)しまの	(株)深川自動車センター	幌成簡易郵便局
(有)躍進産業運輸	臼杵商事(株)	(株)山一工業
深川ホンダモーター(株)	協和ハウジング(株)	メイコー堂時計眼鏡店
(有)かねもり森田商店	杉村歯科医院	(有)カーフォルトミュー
(株)ヤクルト北北海道	中澤歯科整形外科医院	小野歯科医院
音江中央保育園	小川組土建(株)	ネットヨタ旭川(株)深川店
ヒロノ(株)	(有)タイヤサービスハヤシ	(株)ルーラルエンジニア
ベスト電器FC深川店(イナバ無線電機(株))		(有)ウェルコーポレーション
北海道エナジティック(株)深川営業所		會澤高圧コンクリート(株)深川工場

【賛助会員】年額一口 2,000円(個人)

谷口 保	横山 一雄	小森 寮子	五十嵐カツエ	平 通明	亀上 典克
渡来 幸夫	臼杵 義光	安岡 芙美子	高澤まさ子	梅澤 幸子	藤田 孝男
高桑 幸雄	原 勇	大西 孝子	田中 政市	柴田 康行	島田 守康
和田 郁夫	大平 隆敏	東 二郎	横山 岩男	小西 昇一	宇野 和江
小泉 善次	高畑 俊孝	永野 慶昭	村木 章子	樋村 良春	安岡 英美子
越智 和子	梅澤 慈祥	安立 安子	内村 秀雄	松田 俊雄	中西 幸一
澤田 愛子	田中 英一	佐藤 竹雄	村中 宏子	堀川 喜芳	西 富三
上野 實夫	坂本 健治	原田 美智子	長谷川 敬次	田島 昌恵	奥谷 けい子
寺下 良一	谷 順子	浅井 弘美	渡辺 優	廣瀬 久美子	湊 修治
神馬 澄子	久保 照子	堀 尉和雄	鈴木 哲夫	中本 照子	田中 昭光
坂本 一枝	伊藤 光雄	佐橋 泰子	能登 章介	吉田 俊雄	山田 敏夫
大久保春夫	村木 武	石川 弘幸	南 キソ子	曾我部 徳子	田中 春美
中村 洋子	小山夕起子	大原 尚武	沼田 藤雄	米野 武子	逢坂 征子
土手 利雄	斉藤由紀子	橋本 礼子	山田 欣作	西山 政子	田島 京子
中川 頼子	木村 昭子	小野寺ユミ子	遠藤 誠一	宮越 孝子	遠藤 晃一
藤川ツヤ子	川崎 一江	渡辺 静江	白井美智能	吉田 和則	小嶋 裕子
中井 秀夫	秋沢佐代子	結城 博三	藤巻 久子	青山 寛志	山本 光典
早坂 千春	真鍋 恒美	矢野 正樹	岡部 晴美	五十嵐 幸男	高崎 彰
小田 幸晴	青木 清美	垣谷 昇	上村 賢次	寺本 一美	武田 孝規
西野 康雄	高桑 修	瀬川 勲保	山口 憲章	芳賀 悦子	鳥羽 曙海
佐々木洋子	佐野 睦子	相場 弘之	井口 春敏	島 貴子	田中 ちえ子
加藤 昭男	伊東 幸次	高橋 眞智子	納村 一男	渡邊 由美子	長谷 智行
岡田 明	高柳 洋	松永 順子	川中 妙子	富田 弘美	有働 正夫
林 光男	藤島 公子	加藤 正文	吉原 愛子	鈴木 敏己	堀内 弘美
佐藤ヨシノ	沢田 邦一	荒井 信子	五十地 富子	正田 誠弘	加地 淑恵
村上 輝子	内村せつ子	渡邊 純	造田 安廣	五十川美恵子	原 敏夫
青木 朱美	川村 敏子	菊池 実	中山 美雪	渡辺 悦子	光富 真理
小川 篤子	関 良一	明瀬 栄子	久松 正則	眞鍋 文雄	中川 辰雄
平澤 妙子	西村 守	村中 輝實	松浦 明美	棚橋 寛子	近喰 順二
山田 守	広瀬 利枝	吉田 直子	道上 聡	佐藤 和男	尾中 良勝
坂本 恵子					

皆さんの善意が地域福祉を支えています！

～「赤い羽根共同募金運動」の紹介～

「ふかがわ」の地域福祉活動に活用します！

毎年十月一日から十二月三十一日の期間で行われている「赤い羽根共同募金運動」に寄せられる募金は、各種福祉活動やボランティア活動などの活動資金として、翌年に地元共同募金委員会・社会福祉協議会を通じて各福祉団体やボランティア団体、地域福祉の推進組織に配分されています。ここでは、本年度の配分状況と赤い羽根共同募金運動のしくみについて紹介します。

【2018年度に寄せられた赤い羽根共同募金から 2019年4月に深川市へ配分された事業の一覧】

○深川市バレークラブ 連合会活動助成	150,000 円
○深川身体障害者福祉協会活動助成	100,000 円
○障がい者スポーツ大会開催助成	27,000 円
○心身障がい児親子レクリエーション 開催助成	70,000 円
○盲人会活動助成	18,000 円
○地域子ども会育成会連合会活動助成	130,000 円
○地域福祉活動推進事業費 (小地域ネットワーク活動など)	482,904 円
○ボランティアセンター運営費	450,000 円
○ボランティアセンターだより発行	150,000 円
○社協だより(広報誌)発行	200,000 円

合計額：1,777,904円

『赤い羽根共同募金運動のしくみ』

令和元年五月 募金目標額決定

← (令和元年度の目標額は、三百十万円です。)

令和元年十月 募金運動開始

← (各戸募金・篤志募金・学校募金・街頭募金・職域募金の五種類の募金運動を行います。)

令和二年一月 収納集計

← (募金総額を決定します。)

令和二年三月 配分決定

← (募金総額に応じて、募金の使い道を決定します。募金総額の約七割が毎年深川市内に配分されています。)

令和二年四月 配分開始

← (各種活動に配分され活用されます。)



認知症を学び、地域で支えよう！

～「認知症サポーター養成講座」ご案内～

『認知症』は、誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上では4人に1人はその症状があるといわれています。

深川市と社会福祉協議会では、『認知症』を正しく理解してもらうための「**認知症サポーター養成講座**」を行っています。誰でも気軽に受講できる「出前講座」です。また認知症サポーターは、「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症をよく理解し、認知症の人やその家族の応援者です。少ない人数での講座申込みも可能です。ご連絡お待ちしております。

【講座カリキュラム（例）】※1時間半が基本時間です。

説明「認知症100万人キャラバンとは」	15分
講義1「認知症を理解する（1）（認知症の症状など）」	30分
講義2「認知症を理解する（2）（認知症の予防・認知症の方と接する際の心構えなど）」	30分
講義3「認知症サポーターとは（サポーターができること）」	15分

○「小学生」は、「2時限」で開催しました。

○「中学生」は、「高齢者疑似体験」を含み「3時限」で開催しました。

【講座の内容】

○対象者 認知症サポーター養成講座は、どなたでも受講できる講座です。

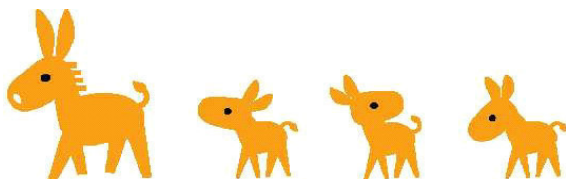
○開催単位 講座開催を希望される「職場」「学校」「各種サークル」「町内会」「親族」「友人同士」など複数の人数が集まる場所に「キャラバンメイト（研修を修了した講師）」が出向きます。

○受講料 無料です。

○修了証他 修了の証として、「修了証」と「オレンジリング」をお渡しします。

「オレンジリング」は、認知症サポーターの目印です。

○活動 認知症の良き理解者として、認知症になっても誰もが「安心して暮らせるまち」の実現を目指します。



「ロバ隊長」は「認知症サポーターキャラバン」のマスコットで、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」への道のりの先頭を歩いています。ロバのように急がず一歩一歩まちづくりも進めます。

「地域支え合い体制づくり事業」コーナー

「成年後見制度」の相談を受け付けます！

認知症などにより判断能力が不十分になった方が、裁判所に申立（もうしたて）し、選任された「後見人」が本人に代わり様々な手続きを行う制度「成年後見制度」について、制度の内容などを相談できる窓口を下記のとおり行っています。相談は無料ですので、お気軽にご相談下さい。

- 相談日時 毎週金曜日 午前10時から正午まで(祝日はお休み)
- 相談場所 総合福祉センター・ボランティア室(深川市3条18番36号)
- 相談電話 22-6622 (上記以外の曜日は、社会福祉協議会26-2411にお電話下さい)

「生活介護支援サポーター」になりませんか？

『生活介護支援サポーター』は、在宅の高齢者・障がい者の方に対して「通院や外出の付き添い」「お話し相手」などの活動をします。活動を希望する方は「養成講座」を受講して頂いた後、「サポーターネットワーク」に登録後、活動できます。希望される方は、まずはご一報下さい。

○養成講座の内容

「ボランティア活動について」「高齢者等の理解」「福祉機器の使用方法」「コミュニケーションの技術」「体験実習」など。

「介護予防ふれあいサロン活動」団体も募集中！

地域住民の皆さんで、在宅で生活している高齢者等が気軽に集まり、ふれあいを通じた「居場所」(サロン)を作ります。

- 運営 町内会などの小地域で作る団体(10人以上)が運営します。
- 要件 月1回・2時間以上の開催を目標とします。
- 支援 サロン推進組織として助成決定した団体には、サロン運営の支援、助成金の支給、活動物品の貸し出し、研修会への案内などを行います。